「やましろ文箱」：作業の時間

2013 年 7 月 12 日　西岡加名恵

１．「やましろ文箱（ポートフォリオ）」をつくる

(1) 40 ポケットのクリアブックを用意し、ポケットに番号を書く。

(2) 目次に即して、見出しシール（「3 年間を振り返って」「交流会記録」「国語」「地歴・公民」「数学」「理科」「保健体育」「芸術」「英語」「家庭」「情報」「My Special Section」）を、該当するポケットに貼る。

(3) 1 番目のポケットには、表紙（裏面は目次）を入れる。

(4) 各教科で返却してもらった作品を、該当するポケットに入れていく。

(5) My Special Section（33－40 番）には、自由に作品を入れる（自由研究、文化祭、体育祭、部活動、ボランティアなど）

２．グループで交流会をする

(1) ４～５人のグループに分かれて、司会者、計時係を決める。計時係は、全員が発表できるよう、時間配分に気を付ける。交流会の間、メンバーは気づいたことがあれば、「事前・当日アンケート」の４番に、適宜、メモを取る。

(2) 司会者が、「アンケートに書いた『問い』の中で、紹介したい『問い』はありますか？」「どんな『問い』ですか？」「どんな時に、その『問い』を発見しましたか？」などと、問いかける。紹介したい「問い」があるメンバーが、「問い」について説明する。聞き手の参加者たちは、感想を述べたり質問したりする（ほめる！）。

(3) 司会者が、「『やましろ文箱』に収めた作品の中で、あなたにとって一番思い入れのあるものは、どれですか？」「なぜ、その作品は、あなたにとって大切なのですか？」「その作品づくりを通して、あるいは、その作品に関わる活動をする中で、あなた自身の中にあった『問い』は、どのようなものですか？」などと問いかける。メンバーが順に、思い入れのある作品を紹介する。聞き手の参加者たちは、感想を述べたり質問したりする（ほめる！）。思い入れのある作品はあっても、その背後にある「問い」が分からない場合は、グループで考えてみる。
※グループで考えても分からなければ、京大の学生さんに質問してみよう！

(4) 全体に報告する内容をまとめる（「この『問い』が良かったから、クラスに紹介しよう」、「こんな作品を残そうと思う」、「こんな感想をもった」、「こんなことがわからないから質問してみよう」など）。

３．まとめ

(1) 各グループから、上記 2 番(4)の内容を報告する。

(2) 先生からのコメント

(3) 各自で、「事前・当日アンケート」の 2～4 番に記入して、提出する。
※「事前・当日アンケート」については、コピーを取ったのち、後日、返却します。

コメント [n1]: 指導を担当される先生へ：生徒に作業をさせながら、各教科から預かっている作品を返却してください。

コメント [n2]: 指導を担当される先生へ：時間が足りないようでしたら、(2)か(3)のどちらかでも良いことを伝えてください。「問い」も思いついていない、資料もないために、話が盛り上がらないグループには、「1 学期に印象に残ったことは何？」「その時、どんなことを考えた？」といったことを話し合うよう、アドバイスしてください。

コメント [n3]: 指導を担当される先生へ：時間が足りないようなら、報告する内容は、特に言いたいこと 1 つだけでよいことを伝え、あとはアンケートに書くよう指示してください。